



13:00 ~ 15:00

講義 1

企画・取材のノウハウ

～広報紙作成のための企画の立て方・取材の仕方～

一般財団法人大阪デザインセンター 企画事業部 部長
吉田 三千代 氏

広報媒体をつくるためには、誰に何をどのように伝えるのかを決めなければなりません。まずは取り上げるテーマや内容などの企画を立て、全体の構成を考えて取材先を選定していきます。ここでは、広報紙で情報発信していくために、どのように企画を立て、構成を組んでいけばよいのか。取材先のリストアップからアポイントの取り方、事前準備や質問案の作り方、インタビューの仕方などを、実例を交えながら学びます。

■プロフィール

1962年生まれ。同志社大学文学部卒。同志社大学総合政策科学研究科修了（総合政策科学修士）。85年、株式会社サンケイリビング新聞社入社。シティリビング<関西>編集長、企画編集部長、企画開発部長等を経て、現職に。紙面企画、Web企画に携わる。兼ねて、株式会社くらしHOW研究所主任研究員として、女性の暮らしをリサーチ。



15:15 ~ 17:15

講義 2

広報写真の撮り方と活用法

～写真に味を利かせるスナップ撮影の三原則～

日本写真家協会 会員
川西 正幸 氏

広報担当者になってから、初めて一眼レフカメラを使うようになったので、撮影に自信がない。普段の記念写真的な撮り方では、迫力のある写真にならない。そのような悩みは広報担当者に共通のものです。この講義では、写真撮影の基礎知識をプロのカメラマンが分かりやすく解説します。被写体や撮影シーンによって使い分ける撮影方法や、アングルの変化で表現力を豊かにする撮影方法などを学びます。

■プロフィール

1948年生まれ。広島県出身。日本写真専門学校卒業。フリーランスフォトグラファー。日本写真家協会会員。日本広報協会広報アドバイザー。全国広報コンクール写真部門審査委員。グラフ誌、週刊誌、月刊誌などで、職人の美術工芸の技を探る・産地から食文化を探る・人物ルポ・足跡をたどる旅などをテーマに連載。他にスポーツ専門誌、映画・TVのスチール写真を手掛ける。主な著書に「江戸職人粋のわざ」(毎日新聞社・共著)、「絶対うまく撮れる デジタル一眼レフ」(コスミック出版 2009年)、写真展:「中近東とヨーロッパ 1972」など。



10:00 ~ 12:00

講義 3

文章の書き方・用字用語の使い方 ～伝わる文章と誤解を生まない表現～

日本漢字能力検定協会 現代語研究室 室長

佐竹 秀雄 氏

特集記事などの文章を作成する場合には、主題を明確にし、しっかりとした文章構成を考える必要があります。この講義では、文章の主題の考え方、構成の立て方、分かりやすい文章の書き方を学びます。また、言葉の表現方法を中心に、言葉の使い方、表現上の注意点などを解説します。さらに、悪文を例に挙げ、漢字の使い方、送り仮名・現代仮名遣いなどの用字用語の使い方にも身に付けます。

■プロフィール

1947年生まれ。大阪府出身。国立国語研究所室長を経て、現職に。日本広報協会広報アドバイザー。全国広報コンクール広報紙部門審査委員。日本話したことば協会理事、日本漢字能力検定協会特任研究員。広報紙の文章表現・表記、現代日本語の表記・文章・言語生活などを専門とする。主な著書に「新文章工学」（三省堂・共著）、「文章作法辞典」（東京堂・共著）、「サタケさんの日本語教室」（角川書店）など。



13:00 ~ 15:00

講義 4

効果的な編集とレイアウト ～発信力のある広報紙づくり～

エディター・広報アナリスト

吉村 潔 氏

ターゲットに情報を的確に伝えるためには、メディアを使いこなす編集能力が必要です。この講義では、広報紙づくりのための編集とレイアウトを、プロの編集者が分かりやすく解説します。情報を効果的に伝えるための編集、レイアウトの基本を解説し、発信力のある広報紙づくりを目指して、効果的なビジュアルコミュニケーションの手法を学びます。

■プロフィール

1953年生まれ。取材記者、編集、株式会社メディアブレン代表取締役を経て、現職に。広報紙やグラフ誌の企画・取材、原稿執筆、レイアウト・デザインまで、編集全般に携わる。日本広報協会広報アドバイザー。全国広報コンクール広報紙部門・写真部門審査委員。主な著書に『実践・広報紙づくり』など。